

折尾愛真

NEWS LETTER



2014年 2月
11号 Vol. 77

学園聖句：「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

特進コース
普通コース
健康福祉コース
保育コース
インターコース
一貫コース

看護科

看護科
看護専攻科

商業科

商業コース
美容専科
コース
製菓衛生師
コース

看護科

第3回 教育講演

1月18日(土)、第3回教育講演会がありました。聖マリアンナ医科大学病院副院長兼看護部長の高橋恵先生をお迎えし、『「看護の力」看護師だからできること』と題して講演をしていただきました。最近の現場での看護師の役割について、具体的な話に生徒学生達は真剣に聞いていました。



健康福祉コース

修了証授与

2月19日(水)、訪問介護員養成研修2級課程及び難病患者等ホームヘルパーの修了証授与式がありました。3年生全員緊張した面持ちで賞状を受け取っていました。また、3月の下旬には介護福祉士の国家試験の結果が発表されます。



修了証を手にした3年生、国家試験も全員合格が期待されます。

保育コース

卒業制作発表会

2月17日(月)、卒業制作として作った紙芝居を3グループに分かれ発表しました。それぞれオリジナル作品で1, 2年生や先生方からは、創造性に富み面白い内容でしたとお褒めの言葉を頂きました。



製菓衛生師コース

和菓子実習

1月9日・14日・16日の3日間、2年生が和菓子実習に臨みました。講師には、例年指導していただいている門司の「なごし」店主の名越一幸先生をお迎えし、羊かん・ヨモギ饅頭・黒糖饅頭・やぶれ饅頭・上菓饅頭を作りました。



生徒が作った
ヨモギ饅頭



製菓衛生師コース

卒業制作

1月31日（金）、3年生21名が5グループに分かれ、実習の集大成である卒業制作を行いました。それぞれ工夫を凝らし、特徴ある作品に仕上がりました。



細かい細工もできるようになりました。



修学旅行 志賀高原

スキー実習

2月10日（月）～14日（金）までの4泊5日の日程で高校2年生が、長野県志賀高原蓮池スキー場への修学旅行に行きました。九州ではめったに見られない一面の雪に囲まれてのスキー体験は、初めての生徒が多く、初めはぎこちない滑り方をしていましたが、最終日には長野オリンピックで使用したコースをインストラクターの指導のもと楽しんで滑っていました。インフルエンザに19名が患いましたが、比較的元気で無事に全員が修学旅行を終えたことに感謝します。



「草創期の黒田藩と栗山大善」堀川の今昔⑤

筑豊線の折尾駅が筑豊興業株式会社の一駅として開業したのは明治二十四年（1891）八月三十日でした。筑豊線の開通によって、石炭運搬舟としての五平太舟の役割は年々失われていくことになります。最盛期は明治三十二年（1899）だったと伝えられ、その年度の運行数は一三〇、六五七艘、一日、凡そ三六〇艘の舟がこの堀川を数珠をなして、舟縁を接して賑やかに行きかっていたと云います。私の祖母は安政五年（1858）の生まれで、日本は開国前夜、騒然とした時代に生まれています。ちなみに、安政の大獄は翌年の安政六年ですから、幕政は混乱を極めていた時期だったようです。五平太舟が堀川を利用した最盛期は明治三十二年（1899）と云いますから四十一才の頃で、自宅の裏庭から石炭を積んで若松港に向かう五平太舟の賑わいを見ていたに違いありません。五平太舟には、石炭を満載したときには、船頭さんともう一人乗っていて、一人は竿をさして舟を進め、一人は路上に上がってロープを肩にかけ、舟を引っ張っていました。祖母は私の子どもの頃、この堀川を眺めながら、よく、『この堀川は黒田藩の筆頭家老栗山大善が造ってくれたものだ』と、感謝の思いを込めてよく語ってくれていました。子どもにとっても、何度も聞かされた栗山大善の名は忘れられません。偉人だろうと私の心に、今でも忘れられない人として刻み込まれています。今でも先人は折尾高校周辺一帯の地名を大善と名付けて、今日に至るまで大善の遺徳を偲んでいます。堀川開削の第一の目的は、遠賀川の治水のためで、今から凡そ三八〇年前の江戸時代初期、第二代将軍秀忠の時代でありました。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より